

令和4年度第1回秋田県高齢者対策協議会 会議録

1 会議の日時及び場所

日時 令和5年3月14日（火）午後5時～午後7時

場所 Zoomによるオンライン開催

2 出席者

●秋田県高齢者対策協議会委員（五十音順 敬称略）

石村 照子	公益社団法人認知症の人と家族の会秋田県支部
稲庭 千弥子	秋田県介護老人保健施設連絡協議会
上田 瑞枝	秋田県ホームヘルパー協議会
小野崎 圭助	一般社団法人秋田県医師会
萱森 真雄	秋田県老人福祉施設協議会
小玉 喜久子	秋田県地域婦人団体連絡協議会
佐々木 修	一般社団法人秋田県薬剤師会
鈴木 信久	秋田県地域包括・在宅介護支援センター協議会
鈴木 博	社会福祉法人秋田県社会福祉協議会
畠山 桂郎	一般社団法人秋田県歯科医師会
古谷 勝	秋田県国民健康保険団体連合会
細越 満	秋田県町村会
森合 真由美	公益社団法人秋田県看護協会

●秋田県

高橋 直樹	秋田県健康福祉部次長
伊藤 幸喜	秋田県健康福祉部長寿社会課長
時田 博文	秋田県健康福祉部長寿社会課調整・長寿社会推進班 副主幹(兼)班長
藤原 貴晃	同 介護保険班 副主幹(兼)班長
船山 晴美	同 介護人材対策班 主幹(兼)班長
佐藤 亜希子	同 介護保険班 副主幹

事務局（秋田県健康福祉部長寿社会課）

3 報告

- (1) 秋田県高齢者対策協議会 会長・副会長の指名について
会長に小野崎委員、副会長に萱森委員を知事が指名したことを報告し、了承。

4 議題

- (1) 秋田県第9期介護保険事業支援計画・第10期老人福祉計画について

	(資料1に基づき事務局説明、質疑なし)
--	---------------------

- (2) 秋田県第8期介護保険事業支援計画・第9期老人福祉計画の進捗状況について

	(資料2及び3に基づき事務局説明)
小野崎会長	委員の皆様から御意見・御質問を頂きたい。
稲庭委員	<p>一般社団法人全国個室ユニット型施設推進協議会においては、「介護大学校」と称して、介護福祉士実務者研修を実施している。横浜市に本校が所在しているが、要件を満たし希望する全国の施設を「分校」に指定し、分校においてスクーリングを実施している。社会福祉法人友遊会が設置・運営する「特別養護老人ホーム飯島」が来年度、分校に指定される見込であり、指定後は同施設において実務者研修を実施することができるようになる。</p> <p>また、ユニットリーダー研修について、全国では現在、同協議会及び一般社団法人日本ユニットケア推進センターにおいて実施している。特別養護老人ホーム飯島が同協議会の実地研修施設の登録に向けた準備を行っており、登録後は県内でユニットリーダー研修を受講することができるようになる。</p> <p>来年度は実務者研修及びユニットリーダー研修ともに、県内で受講できるようになる旨を老健協会員施設に案内しているところである。</p> <p>また、秋田県介護老人保健施設連絡協議会(老健協)の会員である正和会グループにおいては、県の介護ロボット等導入支援補助金を活用し、見守り支援や介護ソフト等を導入した。</p> <p>県が令和5年度の介護ロボット等導入支援補助金に係る予算を増額したことにあわせ、老健協及び秋田県老人福祉施設協議会の各会員は、各事業所の職員の負担軽減のため、順次介護ロボット等の導入を進め、職場環境を改善しようとしているところである。</p> <p>県におかれては、令和5年度の介護ロボット等導入補助金の予算について、令和4年度の予算額から大幅に増額していただいたことに改めて感謝申し上げます。</p>
小野崎会長	ユニットケア研修の実地研修施設については、第8期計画期間内に

	1 施設設置され、目標値が達成される見込みということか。
事務局 (藤原班長)	そのとおりである。
畠山委員	資料2・1頁「自立支援・重度化防止等に向けたリハビリテーション専門職等の活用に係る支援」について、歯科に関しては、リハビリテーション機能訓練における口腔栄養の取組みの連携強化や、介護保険施設や通所介護事業所等における口腔衛生管理及び栄養マネジメントの強化が指標とされているが、これに関して県はどのように考えているのか。
事務局 (伊藤課長)	歯科に関する資料を手元に用意しておらず、申し訳ないがこの場では回答しかねる。
畠山委員	自立支援・重度化防止等の指標において、歯科に関する項目が定められていることから、研修や教育等に関して県の支援をお願いしたい。たとえば、歯科衛生士に対する研修については、歯科医師会が実施できるが、多職種との連携に関する研修等については、歯科医師会が実施することは難しいことから、県の支援をお願いしたい。
事務局 (伊藤課長)	県においても、オーラルフレイル予防などにも取り組んでいることから、関係課にも確認したい。
小玉委員	資料3について、サービス受給者数や施設整備状況の推移がグラフ化されており、大変分かりやすい。 資料2・1頁「地域ケア会議、介護予防・日常生活支援総合事業に係る支援」について、取組状況欄に「一部の市町村を対象に支援を実施した」とあるが、具体的にはどちらの市町村か。
事務局 (藤原班長)	介護保険料やインセンティブ交付金に係る評価結果等に基づき、支援が必要であると判断した市町村を県が選定した。具体的には、男鹿市、五城目町、八郎潟町及び東成瀬村の4市町村に対して支援を実施した。
小野崎会長	資料2・3頁「介護の魅力発見事業」について、二点伺いたい。一点目は事業の実施主体について、県が直接実施しているのか若しくは団体等に依頼しているのか。二点目は、希望する学校が申し込めば事業を実施していただけるのか。
事務局 (船山班長)	今年度までは県が直接実施しており、来年度は委託事業として実施することとしている。また、開催校については、県教育庁及び市町村教育委員会を通じて募集している。
小野崎会長	湯沢市雄勝郡医師会長を務めているが、この事業については把握していなかった。介護従事者の高齢化も進んでいることから、若い世代に

	<p>介護の仕事に関心を持ってもらうことは大切である。</p> <p>令和5年度の開催校数の目標値が30となっているが、学校からの依頼があれば達成可能な数値ということではよろしいか。</p>
事務局 (船山班長)	<p>目標値の達成に向け、取組を推進したい。</p>
小野崎会長	<p>もう一点伺うが、学校で事業を実施する際にはどのような介護ロボットを使用するのか。</p>
事務局 (船山班長)	<p>事業者に協力をいただき、電動車椅子、パワーアシストスーツ、見守りセンサー等を体験していただいている。</p>
稲庭委員	<p>先ほどの歯科医師会の畠山委員の意見に関連するが、秋田県職員として歯科医師(田所歯科医師)の方が1名勤務されていると思うが、この方が秋田県の自立支援・重度化防止、地域包括ケア及びチーム医療福祉も含めて様々な取組を進めていると伺っている。私たち医療協会も、歯科医師会と一緒に行政に協力できると考えている。それらについて、県が主導的に情報交換等を進めていただければありがたい。</p> <p>また、千葉県、埼玉県、東京都が主催するこのような会議にも出席する機会があるが、訪問歯科や訪問リハビリに関して、市町村が支援をしているようなところもあり、私たちもそのような輪に入らせていただければありがたい。</p>
畠山委員	<p>田所先生にはいろいろと協力をいただいているところであるが、多職種連携については、歯科医師会単独で推進することは少し難しいことから、県が音頭を取っていただき、推進していただければありがたいのでよろしく願いしたい。</p>
事務局 (伊藤課長)	<p>多職種連携について、今後どのように進めればいいのか考えていきたい。</p>
小野崎会長	<p>県内においても、訪問歯科を熱心に行っている地域があり、全国的にも秋田県はレベルが高いと聞いている。このような点についても情報交換していただき、歯科医師会からも御協力いただければと考えている。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、実績値が目標値と乖離している指標も一部見受けられるが、今後目標値の達成に向けて取組を進めていきたいと考えているので、皆様におかれても御協力をお願いしたい。</p>

(3) 令和5年度長寿社会課の主要事業について

	(資料4に基づき事務局説明)
--	----------------

小野崎会長	委員の皆様から御意見・御質問を頂きたい。
萱森委員	<p>福祉系高校修学資金貸付事業は非常にいい制度であり、私の法人においても高校生を採用することができ、まさに金の卵である。</p> <p>一点提案であるが、現在県内の福祉系高校は六郷高校1校のみであることから、難しいことだとは思いますが県北や中央地区にも福祉系高校を新設すべきではないか。</p>
事務局 (伊藤課長)	高校や学科の新設はハードルが高いが、介護人材確保対策として有用だと思う。
森合委員	<p>コロナ禍のこの3年間、これから4年目に入るが、その間各介護サービス事業所は大変な状況だったと思う。</p> <p>資料4・18頁「新型コロナウイルス感染症に係る介護サービス継続支援事業」について、看護協会でも、各介護施設のコロナ対策のために、昨年、感染症認定看護師等を8施設に派遣し、研修を行った実績がある。また、その施設の看護師を対象として感染対策リーダー研修を実施し、30名ほどの方に受講していただいた。来年度も、新型コロナウイルス感染症のみならず、今後起こり得る新興感染症などに備えて、看護協会としてもこのような事業を継続していきたいと考えているので、ぜひご活用いただければと思う。</p>
小野崎会長	<p>コロナ禍において、看護協会には非常に頑張ってもらっていると感じている。私自身、ACOMAT（秋田県コロナ医療支援チーム）として高齢者施設の支援を行っているが、施設の看護師は感染症に関する知識が不足しており、ゾーニングについても初めて行うということもある。看護協会から感染症認定看護師等を派遣していただき、研修等を実施していただくと施設のクラスターは相当減るものと思われる。</p> <p>医師会としても看護協会と協力しながら、今後このような点について力を入れていく必要があると考えており、看護協会におかれても感染症認定看護師等の派遣を継続していただければ大変ありがたいので、引き続きよろしくお願ひしたい。</p>
小野崎会長	<p>全国的に介護施設職員による高齢者虐待が問題になっていると思うが、原因として、ストレス発散の場がない、給料の割に仕事がきつい、相談する場がない等言われている。</p> <p>資料4・6頁にあるように、秋田県では介護人材を確保するために様々な事業を行っているようだが、介護施設等に現在勤務している職員のメンタルヘルス対策事業のようなものは実施しているか。</p>
事務局	県として現在直接的なメンタルヘルス対策事業は行っていないもの

(伊藤課長)	<p>の、厚生労働省では、Web 上で職場のストレスをセルフチェックできるものを公開している。</p> <p>また、介護職員に特化したものが必要ではないかという意見もあると伺っている。これは秋田県固有の問題ではなく全国的な問題でもあることから、これについては厚生労働省に対し要望してまいりたいと考えている。</p>
小野崎会長	<p>施設で働いている職員がストレスについて訴える場所がなかなかないことにあわせ、ストレスチェックではなかなか計り知れないところもある。また、身体的に腰痛を持っている方も多くいるが、施設によってはなかなか対策を講じてくれないといった不満も聞く。</p> <p>働く方のメンタルヘルスケアに関する事業があれば望ましいと思っていたことから、質問をさせていただいた。</p>
事務局 (伊藤課長)	<p>当課では施設職員を対象とした高齢者虐待防止に関する研修を、また、県精神保健福祉センターではメンタルヘルスに関する研修を実施しており、これらを活用していただければと思う。</p>
小野崎会長	<p>資料 2・8 頁に記載されている「介護支援専門員等に対する実践力向上研修事業」など研修事業が様々あるが、研修受講後は修了証のようなものは頂けるのか。</p>
事務局 (伊藤課長)	<p>研修を受講された方に対しては、研修終了後に修了証をお渡ししている。</p>
事務局 (時田班長)	<p>以上をもって、令和 4 年度第 1 回秋田県高齢者対策協議会を閉会する。</p>